

ISSN 0289-8144

なきごえ 3

MAR.

1999



CONTENTS

New Face ホッキョクグマの赤ちゃん	大川光雄 ②
動物とわたし オランウータンになった5秒間!?	榊原安昭 ③
カバーウォッチング ナベヅル	しみずのげーにん ③
おはなし でてこい、アフリカのおはなし -サルとカメレオン-	榊原安昭 ④
行き場をなくした星の子供たち	伏原納知子 ④
グラフZOO 世界のへび	西村慶太 ⑥
KEITAのなんでやねん!動物園 ワニガメのジョーは恋をする	西村慶太 ⑧
ZOO DIARY	西村慶太 ⑩
ZOO INFO	竹田正人 ⑪
	中上正幸
	坂本



New Face

ホッキョクグマの赤ちゃん

(ネコ目 クマ科)

昨年11月25日、マイクを通して聞こえる鳴き声で出産が確認されていましたが、1月10日に初めて姿を確認しました。3月中旬には真っ白な赤ちゃんが入園者の人気を集めることでしょう。

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-

しみずのげーにん

(せいかつサーカス・大道芸人)



オランウータンになった5秒間!?

日照しのほがらかなある冬の日のこと、久しぶりに会った父と「天気もいいし動物園に行こう」という事になって、天王寺動物園に行った時の話です。

植物園の熱帯雨林を、ネクタイ姿の父とどてらをはおったぼくで、何を話すでもなく見学した後、動物園に入ると、「オランウータンが見たいなあ」と父が言いました。ぼくはキリンを見て、「あー黄色で首と足が長くて大きいなあ」と思いながら、「まあ歩いたらオランウータンくらい、どっかおるやろ」と父と話しながらも、なんでコアラやらゾウとかペンギンとかいっばいおる動物園に来て、いつでも見れそうな感じのするオランウータンやねん?とワケを聞くでもないし、その父にしては珍しい発言に、ぼくもオランウータンはどこだ、と少し意識して歩いていたら、白い壁の向こうにおりましたかな。

「あーおった! おった!」と少し遠くから気が付いて、あっこや! あっこや! と父と2人で手をあげたのとほぼ同時に、木の上の先端からオランウータンがこっちを向いて「おー来たか、来たか」おっすと手をあげた。のとほぼ同時にぼくと父は「おー来たか! おっす!」とオランウータンが手をあげたなあ、ウワー、その間、多分約5秒。

その一瞬の意思の疎通の後には「あーもう相手してくれへんわ」とぼく、「んーでもあの時確かにこっちに手をふったねえ」とうれしそうな父。

ぼくは、もう今は知らんふりのオランウータンの正面に立って思いました。ウワーと思った瞬間から、ぼくらの関係は、人間とオランウータンになっちゃったなあー。



ナベヅル

ツル目 ツル科
Gyrus monacha

Cover Watching

シベリア南東部で繁殖し、鹿児島県の出水市や山口県熊毛郡などで越冬します。極東に分布が限られたツルで絶滅が心配されています。昨年、当園では初めて繁殖に成功しました。(撮影・文: 榊原安昭)

サルとカメレオン

サルとカメレオンは、仲のよい友達でした。ある日、二人は、それぞれの親をたずねようと旅にでました。それは、とても長い道のりの旅でした。道の中ほどで、ムチキチとよばれるヤシの木に、酒が造ってあるのをサルが見つかりました。「ああ、のどが渇いてしょうがない。おやいいところに酒がある、ちょっといただいて行こう。少しぐらいならいいだろう」

しかし、カメレオンは、首を横にふりました。「さあ、先を急ごう。人間の酒を飲んだりしたら、ろくなことはないよ」

しかし、サルはその注意に耳をかきません。あっという間にヤシの木に登り、すばやく酒を飲んでしまいました。二人は、また旅をつづけました。しばらくすると、酒の持ち主が、様子を見に来ました。

「おや、これはどうしたことだ。わたしの酒をだれかが飲んだな」

人間は、あたりを見まわし、足あとを見つけました。

「うん、どうも二人づれが、ここへ来たようだ。きっと、奴らが飲んだにちがいない」そう言うと、急いで二人のあとを追って行きました。やがて、サルとカメレオンを見つくと、二人をつかまえて聞きました。

「おまえたちのどっちが、わたしの酒を飲んだんだ。ええ、どっちだね」

すかさずサルが答えました。

「はい旦那、一目みればわかるでしょう。それは、酔っ払って歩いている方ですよ」

人間はなるほどと思い、二人の動作をじっと見ていました。そして、酔っ払っているのは、カメレオンだと思いました。なぜなら、カメレオンは、のっそりのっそりと、酔っ払いのように歩くからです。人間は、カメレオンをととてもひどく打ちました。ようやく、カメレオンが許されると、二人はまた旅をつづけました。かなりの道のりを来たときです、カメレオンが言いました。

「ねえ、寒くなってきたよ。ぼくは寒いと歩けないんだ。火をおこしてくれないかい」

サルはカメレオンの頼みを聞いて、ある村のそばで、火をおこしました。二人は火にあたっていました。ところが、火はだんだんと大きく燃えあがっていき、とうとう軒の家に燃え移ってしまいました。そして、火は、家々を焼いていきました。村の人々が、怒ってやってきました。

「だれだ、われわれの村に火をつけたのは」

こんどは、カメレオンが先に答えました。

「わたしは、火をおこしたりなんかしていませんよ。わたしたちのどちらの手が黒いか、見ればわかるでしょう」

人々は、二人の手を見ました。すると、サルの手はまっ黒でした。サルは捕らえられ、とてもとてもひどい目にあいました。

これは、コンゴ民主共和国(旧ザイール)の森に住む人々に伝わるお話です。サルの手が黒い事や、カメレオンの歩き方など、動物たちの特徴をうまくとらえた昔話です。私が住んでいたコンゴ民主共和国の東部では、こうしたお話は、人々の間でいきいきと語られていました。老人から子供へ、男達の酒の席で、女たちの間で、また子供達が大人になるための教育として、様々なお話が語られているのです。

昔話というものは、長い歳月の間、多くの人に語られ、形づくられ、生命を吹き込まれて来たもので、その民族の考え方や行動をうまく織り混ぜていると思います。子供達は先人の物語りを聞き、森で生きる知恵や約束事を、また人との付き合い方を学んで来たのでしょ。

コンゴでは、お話し上手な人はどこにでもいて、お話を聞く事は、大人でもとても楽しいものです。また、真っ暗な闇を背景に聞く語りには、現実と想像の境目を無くす力があります。いましも後ろの闇で精霊や悪霊が息をひそめているような。

アフリカの多くの地域では、お話を昼間することをタブーとしています。昼は現実の時間、夜は非現実のものたちが支配する時間。そうした闇、自然への恐れや畏敬も、森と共存する民族の知恵なのでしょう。

考えてみると私たち日本人は、夜の闇も、語りの楽しみも失ってきたようです。目を開けているのが閉じているのかも分からない闇はなかなか経験できません。目の前の人語る物語を聞くことも、語る力も無くして来ました。子供時代に多様な物語を人の肉声で聞き、自分のものとして、闇に想像力を解き放つことを知らずに過ごしてしまうのは、とても残念なことです。



村の幼稚園でもお話しは語られている。

今、図書館や学校で、語りやストーリーテリングを広めようとしている方々は、こうした状況に危機感を持たれているのかもしれない。

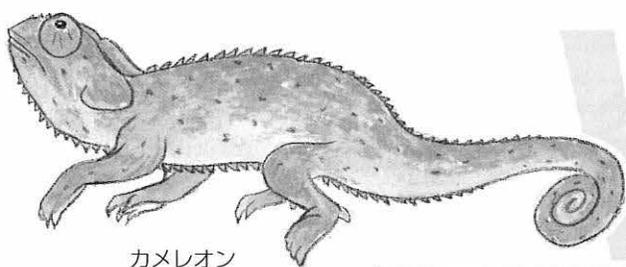
以前、コンゴ民主共和国から来日中の方に、昔話を語ってもらったことがあります。横で通訳をしたのですが、お話しの現場から来た人の巧みな語りには、言葉は分からなくても、大人も子供もすっかり魅了されました。

しかし、私にお話の楽しみや、人が語ることの喜びを教えてくれた土地は、今内戦の中にあります。戦争は、子供達から民族の知恵や伝統を伝える場を奪い、武器を与えるかもしれません。この国が豊富な鉱物資源を持っていることも、内戦を複雑なものにしています。真の闇を失った国々、不夜城のような夜を持つ国々の利害が、この国に別の闇を広げているのかも知れません。

アフリカの子供達がお話しに目を輝かせる日々が失われないように、日本の子供達がお話しをもっと楽しみめるように、願わずにはいられません。たくさんのおはなしは、大人になっていくとき、きっと助けたり励ましたりしてくれると思うからです。



アカオザル



カメレオン

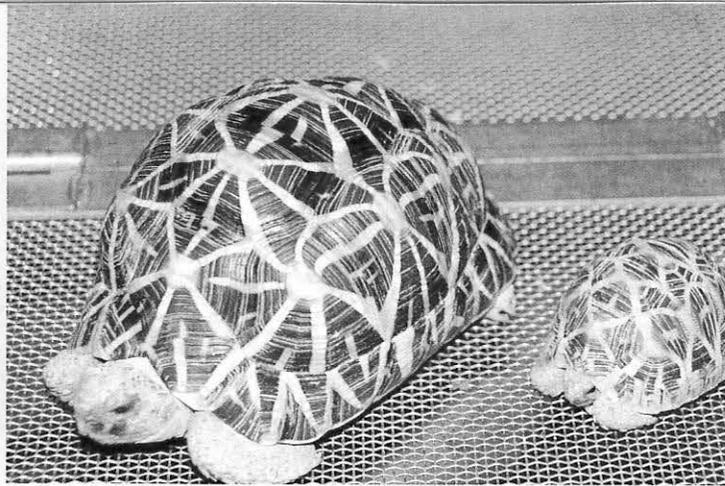
おはなしでてこい、アフリカのおはなし —サルとカメレオン—

World Animals & Nature

画家：伏原納知子
(ふしはらのじこ)

行き場をなくした星の子供たち

飼育課 — 西村慶太



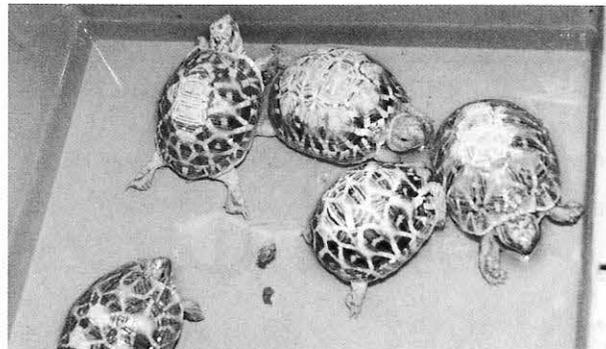
この美しい模様も草ムラでは保護色に

赤ちゃん誕生! 新しい動物到着! 動物園に新しい動物たちが訪れたときは何かと話題になり我々飼育係や入園客の皆様をワクワクさせてくれるものです。でも動物園にやってくる動物の中には私たちの気分を重く沈ませるものもいるのです。海外より不法に密輸入され、空港で保護されて動物園に収容される密輸動物もそのひとつです。今回は、そんな密輸入された動物のひとつであるホシガメの赤ちゃんたちの話です。ホシガメはインドやパキスタン、スリランカの乾燥した森林や草原にすむリクガメの仲間です。甲長20~30センチ前後になる小型のリクガメで、地面に生える草を主食にする草食性です。盛り上がった甲羅の甲板には黒い色に黄色のラインが放射状に広がり、まさにホシガメの名に恥じない美しさです。この美しい模様も草原の中では保護色になっているのです。

さてこのホシガメは、そのかわいらしさ、甲羅の美しさなどからペットとして人気があり毎年たくさんの子ガメが輸入されます。ホシガメはペットとして飼うことを禁じられた動物ではありません。ただ原産地でも数を減らしつつあるカメなので、輸出入を法律で規制し、輸出入するためには許可をとる必要があります。ワシントン条約の附属書Ⅱに含まれている、いわば保護を必要とする野生動物の一種なのです。最近ペットショップで見られるホシガメ達のほとんどは合法的に許可を得て輸入されてきたものです。でも、その人気に目をつけてお金を稼ぐために非法にホシガメを密輸入する人がいるのです。本来、空港で押収された密輸品は、税関にて保管されるのですが、動物の場合は当然餌も食べるし水も飲みます。まして野生

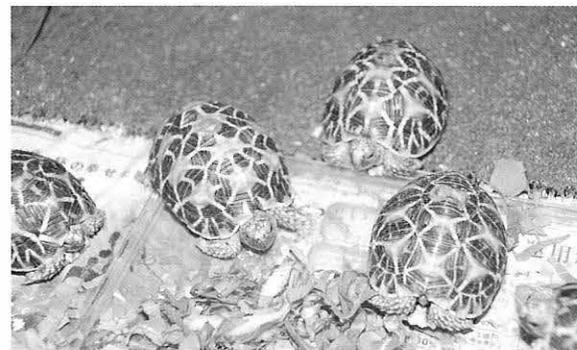
動物ともなれば特殊な環境を必要とするものが多く、そのままでは死んでしまいます。そんな動物達の二次収容先として動物園や水族館へ運ばれてくるのです。ここ数年間でホシガメの保護が続いています。しかも1回に来る数が1頭や2頭ではありません。何百頭という単位で来るのです。その子ガメ達を全国の動物園水族館にふりわけて収容するのです。こうやって天王寺動物園にもホシガメの赤ちゃんが来るようになりました。1回に来る数は10数頭から50頭くらい。小さなものでゴルフボールくらいの大きさの子ガメ達です。私は別にホシガメが嫌いではありませんが、この時ばかりは憂うつになります。この数だけでも大変なのに、この子ガメ達の健康状態が、これまた最悪なのです。

まず原産地での採集方法に問題があります。このカメの場合、原産地の人にお金を渡してカメを集めさせるようなのですが、少しずつ集めては送っていたのでは効率が悪いので大きな箱にカメを集め、ぎっしりたまってから送るのです。当然採集には時間もかかります。その間、掃除をしてもらえず満足な餌ももらえま



子ガメ達をおフロに入れます

せん。狭く密集した不潔な箱の中で抵抗力のない子ガメ達はどんどん弱っていきます。本来少ししかいなかった寄生虫も爆発的に増えます。こうやって、すし詰めにして空輸される間もストレスと病気はどんどん進み、日本に着く頃には心身共にボロボロ、大半が死んでいたということもあるのです。ホシガメを含むリクガメの仲間は本来単独生活を送っています。広い草原にすむリクガメ達にとって仲間と出会うのは偶然の出来事ともいえます。そんなリクガメを何頭も同じところで飼うと、気の荒い種では雄同士はケンカを始め、雌は雄から常に交尾を迫られ逃げることもできません。ホシガメはわりとおとなしい種類なので、それほど目立ったケンカは見られません。しかしケンカをしなだけで、このカメにとっても視界に常に仲間がいること自体が大きなストレスになるのです。かといって、何十頭もの子ガメを1頭ずつ飼うスペースはありません。仕方なく5~10頭ずつ分けて飼っています。

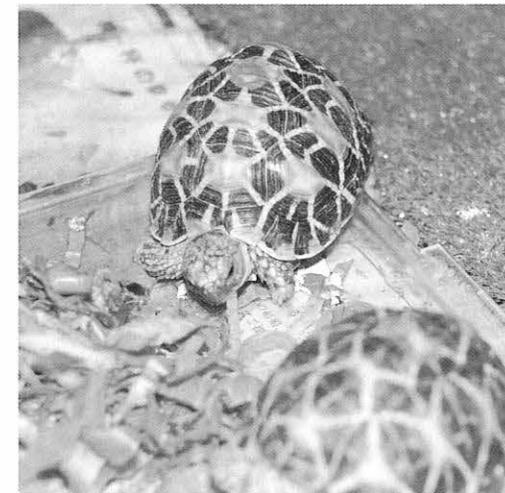


食べない子ガメはいないか注意

お腹の虫を駆除することも大事ですが、まずは餌を食べさせなくてはなりません。子ガメの中には病気やストレス、脱水症状が進み、餌を食べようとしなないものが多いときもあるのです。もともと神経質な上、複数のカメがいるため餌を目の前にしても落ち着くところへ隠れようとするカメもいます。餌を与えても目を閉じたままじっと動かないカメもいます。そこで入園直後の子ガメ達は朝、餌を与える前におフロに入れます。甲羅の上部が水面から出る程度の深さに35℃位のぬるま湯を張り、そこに子ガメを入れるのです。すると、ほとんどの子ガメが水をのみ始め、同時に排便します。目を閉じてじっとしていた子ガメ達もおフロの後には活発になることも多く、この時に餌を与えることで食べてくれる子ガメもいます。50頭

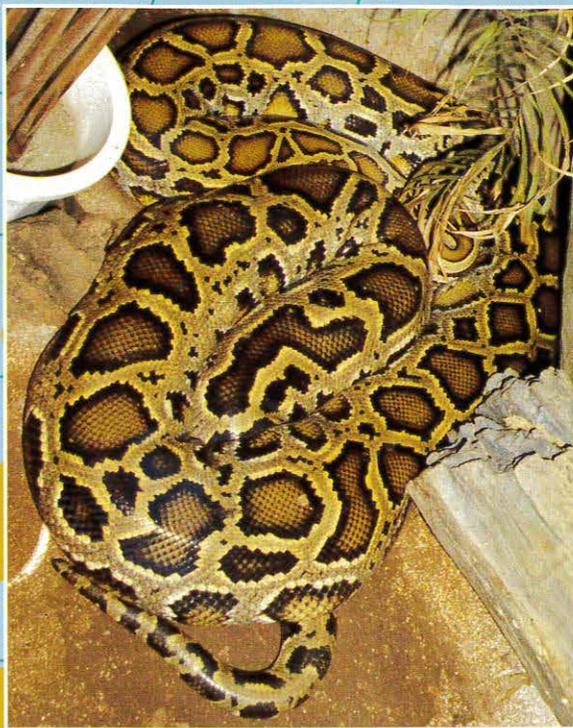
前後の子ガメをおフロに入れるのも一仕事です。やがて元気になると餌の皿や人を見ただけで寄ってくるようになり、ここまでくればおフロには入れなくなります。

白分で餌や水をしっかり摂れば、ひんぱんに子ガメを持ち上げたりすることは、かえってストレスにもなるでしょう。私たちがちょっと持ち上げるだけでも子ガメにとっては大変なことでしょう。私達人間がいっきにビルのでっぺんまで吊り上げられるようなものです。でも中にはなかなか食べてくれない子ガメもいます。50数頭の中の調子の悪い子ガメの確認が大切です。お風呂の回数を増やしたり、お風呂の水にビタミン剤を添加したり、餌や温度、環境を考えたり、その子ガメだけ分けたりと注意深く観察します。このような苦勞が全国の動物園水族館で繰り返されています。最近はこの子ガメ達の2世誕生まで成し遂げた園館も見られます。ペットとして飼われているホシガメにおいても繁殖させ、大切に飼っている人が増えているようです。ただ、それらを欲しがる人に目をつけた一部の人による密輸入は後をたちません。ペットとして飼うことはできる。でもその人気がこういった密輸入を生み出すことも忘れてはなりません。ペットとして飼われる両生爬虫類の多くは飼育下で繁殖されたものが占めるようになってきましたがホシガメのように今だ野生個体が大量に狩集められている種もいるのです。不法に輸入された子ガメ達は安易に人に譲ったり、もとの国に返すこともできません。どこの園館も、もうホシガメでいっぱいです。我々も大変ですが、それ以前にこの子ガメ



餌を食べるようになった子ガメ

(にしむら・けいた)



GREEN
LAND

① シマヘビ

＜本州・四国・九州に分布＞

コイツは日本産のヘビだ。背中を走るラインがポイントさ。少し神経質でつかむとすぐに咬みつこうとするんだ。もちろん毒はないが山で見かけてもそっとしておいてやってくれよな。

⑤ アオダイショウ

＜日本に分布＞

名前は知っていても、あまり姿を知られてないヘビかもな。シマヘビよりかなり町のほうまで現れるようだ。おとなしく飼いやすいが何やら変わったにおいを出すなあ。

CANADA

グラフZOO

構成：西村 慶太

U.S.A

世界のへび

② インドニシキヘビ (ビルマニシキヘビ)

＜中国南部～東南アジアに分布＞

ヒェ～！ さすがのオイラもコイツの大きさには驚いた。メスのほうがずっと大きくなり、中には長さが6mを超えるヤツがいるそうだ。動物園ではニワトリなどを食べているが野生のものはシカのような動物をもエサにしているんだ。



⑥ アカダイショウ

＜米国東南部に分布＞

一見派手な色をしているけど、落ち葉の中だと見分けがつかなくなるぜ。おとなしくて飼いやすく、毎年たくさんの赤ちゃんが生まれているんだ。

MEXICO



AFRICA



③ ケニアスナボア

＜アフリカ北東部に分布＞

こいつは砂漠の砂の中に潜って暮らしているんだ。なんでも砂に潜りやすいように鼻先がスコップみたいに平たく硬くなってるそうだ。卵でなく赤ちゃんを出産する卵胎生だってよ。

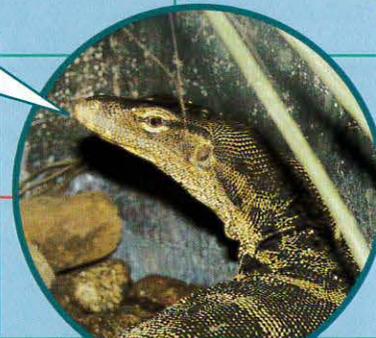


AUSTRALIA

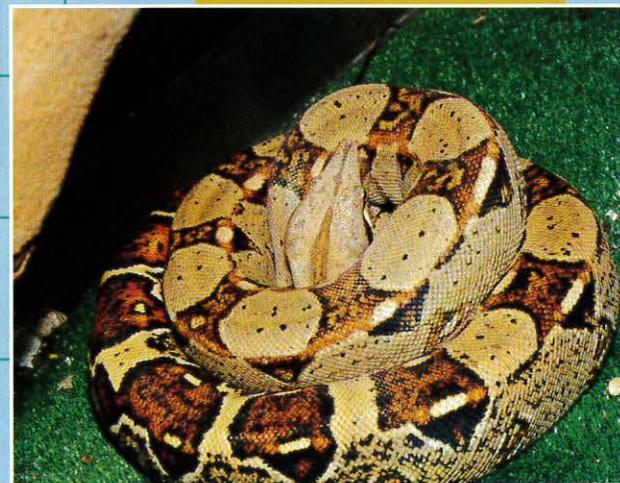
④ ミドリニシキヘビ

＜ニューギニア・オーストラリア北部に分布＞

絵の具で塗ったワケじゃないぜ。こんな風に木の上でエサの小鳥などを待ち伏せている樹上性のヘビなんだ。葉の茂った木にひそむコイツを見つけるには骨が折れるだろうよ。



案内：ミズオオトカゲ



⑦ ボアコンストリクター

＜メキシコ～中南米に分布＞

「コンストリクター」とは「しめつける者」という意味。その強い力で狩りをするんだ。コイツも赤ちゃんを出産する卵胎生だ。

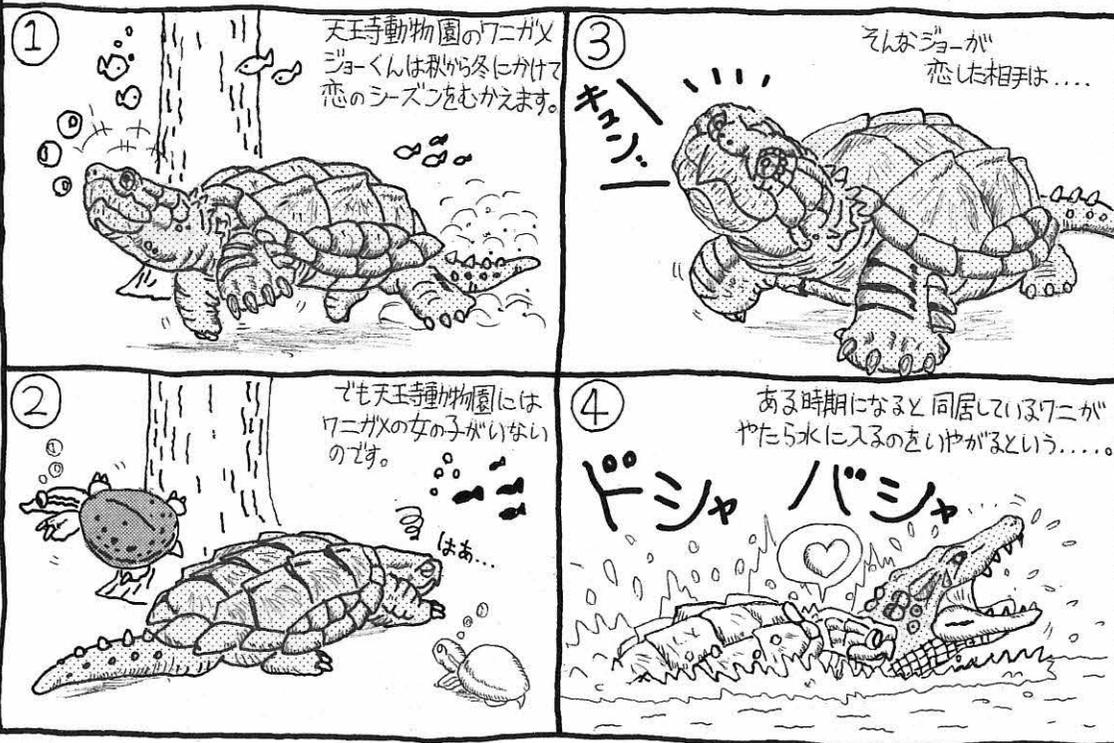
KEITAのなんでもやねん! 動物園

No.1 絵・文 / 飼育課：西村 慶太

巨大ガメ

ワニガメのジョーは恋をする

どっかにイイ娘
おらんかば...



PROFILE

ワニガメ

Macroclmys temminckii
カメ目 カミツキガメ科 米国南部に分布



大きなものでは甲長80センチにもなります。産卵時のメスを除き一生の大半を水中で過ごします。夜行性で昼間は岩のようにじっとしているため当園でもこの巨大ガメに気づかない人が多いようです。口を開けたままじっとしている時は、口中をよく覗いてみましょう。舌の上にミミズのような突起が付いています。この突起をゆらゆら動かせ、エサと思って近づいて来た魚を捕らえて食べるのです。

1/1 ●昨年10月に生まれたライオンの赤ちゃんが衰弱したので、人工哺育を始めました。



1/2 ●新年は、本日から開園し、お年玉として特製カレンダーを配りました。また、所長が干支にちなんでウサギのお話をしました。

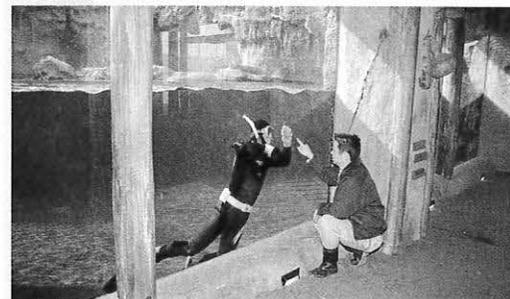
1/4 ●ホシハジロを1羽保護しました。
●爬虫類生態館で飼育中のセマルハコガメが眼の病気(ハーダー氏腺炎)になったので、治療を始めました。

1/7 ●昨年12月に保護したシロハラが元気になったので、自然復帰させました。
●フンボルトペンギンがNo.2の巣箱で1卵目を産卵しました。

1/8 ●昨年11月25日に鳴き声で誕生を確認したホッキョクグマの赤ちゃんを肉眼で確認するため、11月2日以来初めて飼育担当者が入室しました。赤ちゃんは確認できませんでしたが、声などで母仔ともに元気なようです。

1/10 ●飼育担当者による動物園のおじさんのお話「ウサギのお話」を開催しました。
●本日初めてホッキョクグマの赤ちゃんを肉眼で確認しました。真っ白でぬいぐるみのような様子でした。順調に成長すれば3月頃に一般公開する予定です。

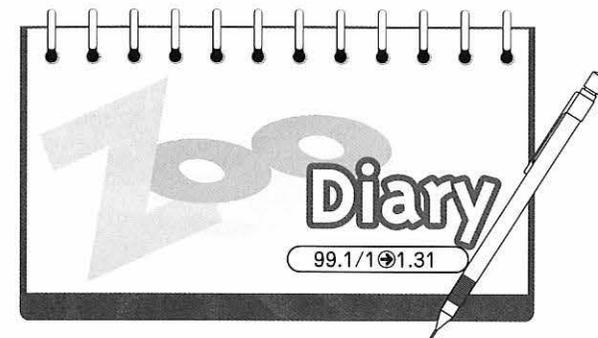
1/11 ●カバ含水中展示プールのガラス清掃を行いました。毎月1~2回休園日に実施しています。



ZOO INFO

お知らせ

●春の動物と花のフェスティバル '99
期間 4月29日(祝)~5月5日(祝)の日曜・祝日・休日
場所 天王寺公園・動物園
内容 期間中の日、祝日に多彩なイベントを開催。
◆動物園では、野外ステージで、飼育担当者から動物を楽しく紹介する「こんにちほ どうぶつくん」、動物を題材にしたマジックショーや、ぬいぐるみショー等を行います。
◆公園では、水上ステージでぬいぐるみショーやマジックショー等大人も子供も楽しめるイベントを開催します。



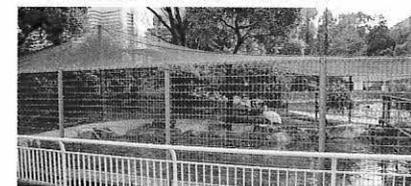
1/13 ●ヒドリガモを1羽保護しました。
1/17 ●フンボルトペンギンがNo.10の巣箱で1卵目を産卵しました。
●チュウサギを1羽保護しました。

1/18 ●ホッキョクグマの赤ちゃんの写真撮影に成功しました。赤ちゃんは寝室の奥にある産室からなかなか姿を見せず、シャッターチャンスがうかがうのに気を使いました。



1/20 ●昨年12月10日にNo.3の巣箱で産卵したフンボルトペンギンの1卵目がふ化しました。ふ化日数は41日でした。

1/21 ●オナガガモを1羽保護しました。
1/23 ●アブラコウモリを1頭保護しました。
1/25 ●ペリカン池に天井網を設置しました。これは野生サギ類やカラスが餌のアジやコイを盗食するのを防ぐためです。



1/28 ●ホッキョクグマの赤ちゃんのビデオ撮影に成功しました。
1/31 ●ジョウビタキを1羽保護しました。

●天王寺公園・動物園写真コンクール作品募集
期間 4月29日~8月31日
場所 天王寺公園・動物園
内容 公園・動物園で、「人・花・動物ときめきの出会い」をテーマに写真コンクールの作品を募集します。
問い合わせ先 天王寺動植物園事務所管理課
TEL 06-6771-8401
FAX 06-6772-4633

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー

むし くらしとかいかた

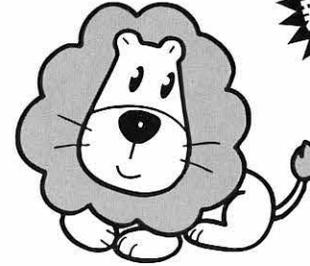
野山でみかける身近な昆虫たち250種を紹介。

ちいさないきもの くらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-6768-1151代表

FUJIFILM
I&I-Imaging & Information



新発売

楽しいショットを
3つのサイズで。

ADVANCED
PHOTO SYSTEM



FUJICOLOR スーパー
ズーム スリム
APSフィルム使用

切替

撮影シーンに合わせて、
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

かろうの大林

桜橋本店 ☎6341-8091
阪急三番街店 ☎6372-5031

狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子〔編著〕 ●新刊
3,500円+税 ●限定1000部

狼と犬と猫の生態を研究し、動物文学をはじめて世に紹介した平岩米吉の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を娘の眼から深く描く。

夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわせ、動物画家・大崎善司、日本好きのスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史
2,600円+税

犬と狼
●2刷出来 2,500円+税

犬の生態
●6刷 2,000円+税

犬の行動と心理
●4刷 2,000円+税

私の犬
2,200円+税

猫の歴史と奇話
2,200円+税

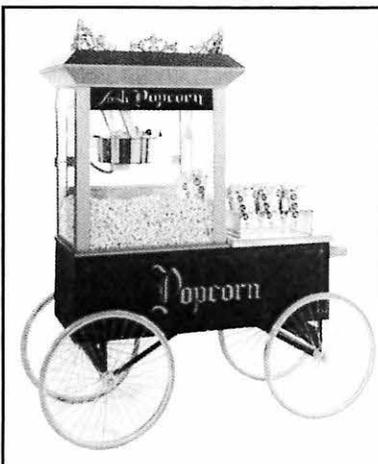
動物文学 復刻版 [全10巻+補巻・索引]

174,757円+税 ●限定300部(分売不可)

南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

築地書館 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp

マスタのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856
大阪府豊中市穂積1-10-30
(株)増田食品 TEL (06)6865-0165

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



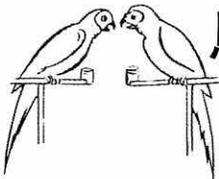
オールカラー

500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)6771-0201



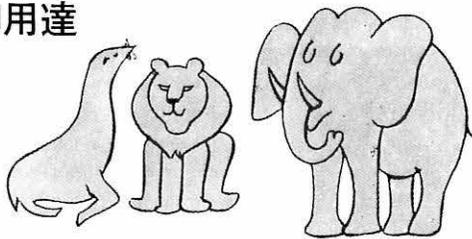
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-6762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....

中央売店

TEL 06-6771-0973



お食事・飲み物・おみやげ

動物園内

南園売店 TEL 06-6771-7110



LOTTE

みんな大好き



<チョコレート>

<ストロベリー>

365日、毎日毎日骨太に。



牛乳のカルシウム吸収のよさそのままに、
1本で1日分のカルシウム。



カルシウムを摂るなら牛乳や乳製品が理想的。それは、牛乳のカルシウムは、とても体に吸収されやすいからです。この牛乳のカルシウム吸収のよさはそのままで、カルシウムの量を600mg (成人1日あたりの所要量) までアップさせた、雪印毎日骨太。日本人に不足しがちなカルシウムを、効率よく補給するために、ぜひ毎日お召し上がりください。



雪印毎日骨太

300ml・100円/希望小売価格(税別)



一日、愉快地 たのしめる

◎園内2カ所(中央デッキ下・南園高架下)に、各種のりものがあります。



ほんとに
楽しいネ!

中央デッキ下



南園高架下

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 4397-0100 (代)

編集委員

井坂 進/中尾啓一/石井 等/中川哲男/藤田四郎/長谷川敏昭/長澤英資/山崎道正/榎原安昭/森本委利/高橋雅之/市川久雄
中上正幸/萩原祐二/満 勇二/坂本 全/竹田正人/高見一利/山元貞幸/大野尊信/野口秀高/早川 篤/村上勇一/西村慶太/油家謙二